

# 平成 28 年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

## 第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

### 1. 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、併せて印旛沼周辺地域の環境保全に資することを目的とする。

### 2. 沿革

昭和 59 年 11 月 20 日、佐倉市宮小路町 12 番地に財団法人 印旛沼環境基金として、旧民法第 34 条の規定に基づき千葉県知事の設立許可を受けて発足したが、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成 18 年法律第 49 号)の施行に伴い、千葉県知事に公益財団法人への移行を申請し、平成 26 年 3 月 19 日の認定を経て平成 26 年 4 月 1 日に公益財団法人 印旛沼環境基金に移行した。

## 第2 事業の実施状況

### 1. 事業の概要

平成 28 年度の事業は、平成 28 年 2 月 9 日開催の第 2 回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

### 2. 事業の内容

#### (1) 印旛沼及び流域における調査研究

##### ① 水質調査等結果の取りまとめ

平成 27 年度に千葉県が実施した公共用水域、及び印旛沼流域 13 市町（千葉市・船橋市・八千代市・鎌ヶ谷市・成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町）がそれぞれ独自に実施した流域の河川・排水路等の水質調査結果等を広く収集し、取りまとめを行った。

調査結果については、平成 27 年度に取りまとめた平成 26 年度と同調査結果と合わせて、「平成 27・28 年版いんば沼白書」（平成 28 年 12 月発行）に掲載した。

##### ② 動植物(生態系)等に関する調査研究

###### ア) 印旛沼（流入河川河口域、排水路等を含む）における水草分布調査

平成 27 年度に実施した調査結果を取りまとめ、平成 26 年度と同調査結果と合わせて、「平成 27・28 年版いんば沼白書」（平成 28 年 12 月発行）に掲載した。

###### イ) ナガエツルノゲイトウ及びオオフサモの植生調査

印旛沼及び周辺の生態系への影響が危惧される「特定外来種」に指定されている水生植物のナガエツルノゲイトウ及びオオフサモの植生調査を実施した。この調査は、これまで市民団体への助成事業として実施していたが、市民団体構成員の高齢化により規模の縮小を余

儀なくされる状況に陥ったことから、平成28年度は、市民団体の協力を得て当基金の事業として実施した。

調査結果を取りまとめ、関係機関に配布し外来種対策について依頼した。

### ③各種関連資料の収集と取りまとめ

#### ア) 水質等に関連する情報収集

県及び流域市町が平成27年度に行った水環境関連の行事、啓発活動などに関する情報を広く収集し、取りまとめた。

結果は、平成27年度に取りまとめた平成26年度の同調査結果と合わせて、「平成27・28年版いんば沼白書」(平成28年12月発行)に掲載した。

#### イ) 水質浄化、環境保全関連の資料収集と書籍購入

- ・水資源開発施設等管理年報第47号(独立行政法人水資源機構)
- ・各市の環境白書(平成28年版)など

## (2) 講習・学習会及び観察会

### ① 講習・学習会等の講師派遣

流域内の市町、学校等の関係機関からの要請を受け、下表に示す学習会や、講演会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
H28. 6. 23 (木)	佐倉市立中央公民館	水環境と人間生活	佐倉市教育委員会 (佐倉市民カレッジ)
H28. 10. 24 (月)	佐倉ふるさと広場	水質調査実習 (透視度・COD)	佐倉市立臼井小学校 (4年生及び教師)
H28. 12. 9 (金)	佐倉市立山王小学校理科室	印旛沼に関する環境教育 (水の汚れを調べてみよう)	佐倉市立山王小学校 (4年生及び教師)
H29. 1. 28 (土)	佐倉市立臼井公民館	印旛沼の変遷—利根川東遷事業及び江戸期における掘割工事を中心に	佐倉市教育委員会 (佐倉市民)

### ② 観光船による印旛沼観察会

#### ア) 観光船による印旛沼観察会(共催:印旛沼水質保全協議会)

印旛沼流域住民の沼への関心を高めるため、沼の水質の現況と沼周辺の自然環境の観察を目的として、平成28年7月28日(木)に開催した。参加者は135名(関係者を含む)。

#### イ) 親子で学ぼう印旛沼(共催:佐倉市)

平成28年6月25日(土)に予定したが、荒天のため中止

#### ウ) いんざい自然探訪(共催:印西市)

平成28年8月22日(月)に予定したが、荒天のため中止

エ) 親子で学ぼう印旛沼 (共催: 酒々井町)

酒々井町在住の親子を対象に、沼への関心を高めるため、観光船を活用し沼の水質の現状と沼周辺の自然環境の観察を行った。平成28年8月9日(火)及び10日(水)に実施し、参加者は42名(うち子ども21名、関係者含む。)

③ 印旛沼公開講座(共催: 佐倉市)

テーマをそれぞれ異にして6回の講座を開催した。

- ・開催場所: ミレニアムセンター佐倉 ホール
- ・対象: 印旛沼流域内外の住民

回	開催日	テーマ	講師(所属)	聴講者数
第1	H28. 7. 2(土)	印旛沼流域水循環健全化第2期行動計画—印旛沼浄化対策—	木村 賢文(千葉県県土整備部河川環境課)	24名
第2	H28. 7. 30(土)	いんば沼の水質浄化を考える—手賀沼における浚渫を事例にして—	本橋 敬之助(公財 印旛沼環境基金)	32名
第3	H28. 9. 10(土)	いんば沼の水質浄化を考える—手賀沼のアオコ回収を事例にして—	本橋 敬之助(公財 印旛沼環境基金)	37名
第4	H28. 10. 1(土)	いんば沼の水質浄化を考える—手賀沼の水生植物の植栽を事例にして—	本橋 敬之助(公財 印旛沼環境基金)	30名
第5	H28. 11. 5(土)	いんば沼の水質浄化を考える—手賀沼流入河川の礫間浄化施設を事例にして—	本橋 敬之助(公財 印旛沼環境基金)	35名
第6	H28. 12. 3(土)	いんば沼の水質浄化を考える—手賀沼流域における排水路等の浄化施設を事例にして—	本橋 敬之助(公財 印旛沼環境基金)	35名

(所属:平成29年3月31日現在)

(3) 啓発・宣伝

① ホームページの公開

インターネットを利用して印旛沼環境基金の活動や計画・予定の行事、さらには印旛沼及び流域の環境保全等に係わる最新の情報を広く流域の住民に伝えるとともに、他団体との情報交換や交流を目的にホームページを公開。

平成28年度はスマートフォンページ等、誰でも必要な情報を簡単に閲覧できるよう、利用しやすさ、わかりやすさに配慮するためリニューアルした。

② 「水辺の風景画コンクール」(第19回)の募集作品の展示等

印旛沼流域内の小・中学校の児童及び生徒に水環境への関心を抱かせるため、印旛沼及び流域の河川等、また他地域で見たり、触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集・審査し、選考した作品の展示(公津の杜コミュニティセンター 通称: もりんぴあこうづ)、さらにまた入賞作品(最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞)については表彰するとともに、流域市町

を巡回・展示した。

なお、絵画展示期間中(6日間)における来館者は、延べ 745 名であった。

- ・募集対象：印旛沼流域 13 市町の小・中学校の児童及び生徒
- ・応募学校数：137 校（小学校：114 校、中学校：23 校）
- ・応募作品数：1,737 点（小学校：1,502 点、中学校：235 点）
- ・展示対象作品数：247 点（小学校：212 点、中学校：35 点）
- ・表彰：最優秀賞 1 点：菊地 航太朗（印西市立牧の原小学校 3 年生）  
優秀賞 2 点：柏崎 惟乃里（八千代市立萱田中学校 3 年生）  
内藤 大空斗（八街市立八街東小学校 2 年生）  
市町長賞 12 点
- ・表彰式：平成 28 年 11 月 6 日（日）「もりんぴあこうづ・2 階ホール」に於いて
- ・展示会場：もりんぴあこうづ 2 階 ギャラリー
- ・展示期間：平成 28 年 11 月 1 日（火）～11 月 6 日（日）
- ・巡回展示：流域 13 市町（展示期間：各市町 5 日間程度）  
平成 28 年 11 月 14 日（月）～平成 29 年 2 月 24 日（金）

### ③ 刊行物等の展示・配布

印旛沼の現状と重要性を認識してもらうことを目的に、当基金が直接係わる公開講座や助成事業成果報告会など、また県及び市町が開催する各種行事において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、有償頒布した。

さらに、平成 27 年度に作成した印旛沼で捕獲されたカミツキガメの剥製を、各種行事で展示したほか、市民団体及び関係機関に貸し出し、各機関が主催又は参加する行事で展示した。

### ④ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形式	発行部数	備考
H28. 5. 31	雑誌「いんば沼」(第 37 号)	A 4 判 8 頁	4,000	委託印刷
H28. 12. 22	いんば沼のはなし（「いんば沼白書」より抜粋）	A 5 判 88 頁	4,000	委託印刷
H28. 12. 22	平成 27・28 年版いんば沼白書	A 5 判 221 頁	250	委託印刷

## (4) 環境保全団体等への助成

印旛沼及び流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学及び NPO 法人を含む一般市民団体等を対象に助成金を交付し、その活動成果についての報告会を開催した。

### ① 助成対象の団体

小学校7校、NPO 法人を含む一般市民団体4団体の計11 団体

## ② 助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校及び団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

### ア) 開 催

- ・ 日時：平成29年1月26日（木）9時15分～14時20分
- ・ 場所：印旛合同庁舎 2階大会議室

### イ) 講 師

- 鳥海 雅弘（千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事）  
 杉本 勉（元佐倉市立臼井小学校 校長）  
 由良 浩（千葉県立中央博物館主席研究員兼生態学・環境研究科長）  
 本橋 敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金 上席研究員）

但し、所属及び職名は平成29年1月26日現在

### ウ) 参 加 者：41名（講師、関係者を除く）

### エ) 報告の課題名と団体

	題 名	団 体
1	わたしたちの印旛沼 ～今・昔・未来～	佐倉市立臼井小学校
2	印旛沼のふるさと船穂の里山	印西市立船穂小学校
3	印旛沼探検隊 ～印旛沼と地元、新川との関わり～	八千代市立大和田小学校
4	富里市の自然を守る ～ホテル・根木名川・馬～	富里市少年少女の翼実行委員会
5	印旛沼とわたしたちの暮らし	佐倉市立山王小学校
6	再発見！ 印旛沼	印西市立宗像小学校
7	印旛沼 新発見！	佐倉市立染井野小学校
8	神崎川上流モニタリング調査・観察会・ゴミ拾いウォーキング	神崎川を守るしろい八幡溜の会
9	ナガエツルノゲイトウ・オニビシ・オオフサモの植生調査	佐倉印旛沼ネットワークの会
10	里山保全と里山における自然観察等の活動	里山の会 ECOMO
11	印旛沼流域の湧水の水質調査及び水環境保全に関する啓発活動	NPO 法人水環境研究所